

がん化学療法科 ニュースレター(仮称) 第一号



岩手県立中央病院・がん化学療法科は設立されて5年目を迎え、本年度は外来化学療法室の拡張移転、電子カルテの導入と大きな節目の年でもありました。

有効で副作用をコントロールした化学療法を提供していくことは我々の重要な使命と考えておりますが、医療は人と人の密接な係わり合いの中で醸成されるものでもあり、この度、よりパーソナルな情報を交換する場として、ニュースレターを発行することと致しました。

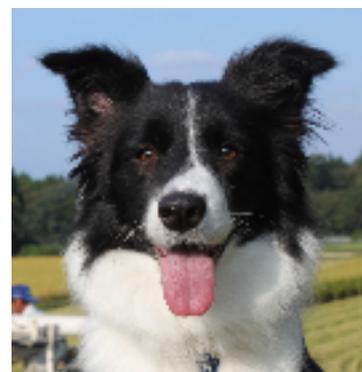
患者様、スタッフは勿論、伝えたい熱い気持ちのある全ての方の情報発信の場として、活用していただければ幸いです。

- ① ニュースレターのタイトルを募集いたします。
- ② 情報発信したい方の原稿を募集します（A4で半ページ程度まで、営利目的、誹謗中傷など不相当と思われる場合は掲載を控えさせていただきます）。

スタッフ・自己紹介

福田耕二医師

気は優しく力持ち。声はちょっと高く、そして大きいけれども、だんだんに早口になる癖がある。そんな医師が8月から、がん化学療法科にいます。



福田 耕二 31歳 秋田県秋田市出身
2004年3月 北海道立札幌医科大学卒業、同年医師国家試験合格
2004年4月～ 社会医療法人明和会中通総合病院(秋田市)初期研修医
2006年5月～ 中通総合病院消化器外科後期研修医
2010年8月～ 岩手県立中央病院 がん化学療法科 赴任

前勤務先では手術をしつつ、化学療法を行って参りましたが、現在は化学療法にどっぷりと浸かっております。みなさんのお役にたてますように、日々研鑽を続けて参りたいと思います。声が大きすぎたり、早口になっていたら教えてください。なかなか自分では気づかないものでして……

犬(ワンコ)大好きです。ボーダーコリーとともに生活しています。

日本癌治療学会 データマネージャー研修セミナーに参加して

医療クラーク 齊藤 書子

今回、東京にて8月28日、8月29日、京都にて10月30日の3日間、日本癌治療学会の主催するデータマネージャー研修セミナーに参加してきました。データマネージャーとは、がん治療に関する臨床試験をサポートする役割で、臨床試験が計画書に沿って行われているかチェックを行い、症例報告書の作成、カルテの管理などを行い、信頼性の高い臨床試験を行えるように医師をサポートすることが主な業務となります。セミナーの内容は、臨床試験とはどのようなものかということから、医学用語の基礎知識、効果判定法、臨床試験に必要な統計学、TNM分類、腫瘍マーカー、検査データの読み方など、臨床試験の基礎を学びました。より有効で安全性の高いがん化学療法を確立し、日常診療で用いられるようになるためには臨床試験はとても重要なものです。ゆがみのない正しい結果を得られるようにデータの管理を行っていきたいと思います。

ひとこと

齋藤さんは、日頃は、がん化学療法科の検査オーダーや、予約の管理を行っていますが、より高度な業務を行えるように、研修を重ねています。温かい目で見守っていただければと存じます。

(加藤)



コラム

早いものでもう師走となりました。盛岡に移り住んでから5年目となりますが、この季節の楽しみといえば、温泉めぐりでしょうか。近郊には、様々な泉質の温泉があり、我が家の二歳児も温泉が大好きです。露天風呂で、雪を見ながら、じっくり入る温泉は、日頃の疲れを取ってくれる効果も絶大で、身体の疲れのみならず、心もリフレッシュしてくれます。皆様のお気に入りの温泉を教えていただければ、温泉の楽しみ方にも幅広がることでしょう。投稿をお待ちしています。

(加藤)

MEMO

12月のがん化学療法科の予定

12月10, 24日 柴田教授外来
12月28日 御用納め
12月30日 外来化学療法を行います
1月4日 仕事始め



オーナメント

クリスマスツリーを飾ります。サンタクロースに願いを込めて、お気に入りのオーナメントを飾っていただければと思います。紛失して困るような高価なものは控えて下さい。